

第49回 定期大会 開催

第30期がスタートしました。

2019年9月13日(金) ホテルクラウンパレス浜松にて、ヤマハ労連の第49回定期大会が開催されました。

今大会では、第29期後半期の活動経過報告や会計・監査報告、第30期の新任役員選挙や運動方針などが審議され、それぞれ満場一致で承認・可決されました。



大会審議結果

<報告承認>

- 1. 第29期(後半期)活動経過報告……………承認
- 2. 第29期(後半期)会計報告……………承認
- 3. 第29期(後半期)会計監査報告……………承認

<議事>

- 第1号議案 第30期役員選挙……………信任
- 第2号議案 第30期運動方針(案) ……………可決
- 第3号議案 第30期(前半期)予算(案) ……………可決

■ 来賓の方々



久重道正自動車総連副会長



磯崎哲史参議院議員



浜口誠参議院議員



松野正比呂組織内議員

■ 組織内議員活動報告

■ 議長団と各種委員



白井議長と鈴木副議長
(写真左) (写真右)



書記の早川・鈴木両代議員
(写真左) (写真右)



司会の山口中執



須原資格審査委員長



村松議事運営委員長



本村選挙管理委員長

■ 大会の様子



活動経過報告
寺田事務局長



総合生活改善総括報告
山本事務局次長



会計報告・運動方針提案
太田事務局長



会計監査報告
高橋会計監査



予算提案
石塚事務局長



久保会長あいさつ (要旨)



全国各地より第49回定期大会にご参集いただき、また、ヤマハ労連の1年間の活動に多大なるご協力をいただき、ありがとうございます。

組織強化活動について

7月に行われた参議院議員選挙で自動車総連組織内議員の『いそぎ哲史』を再度国政の場に送り出すことができました。各組合内で最後の最後まで取り組みを徹底していただいたことが、今回の結果につながったと思っています。これまでの組織強化活動に対して、ご理解とご協力をいただいたことに心より感謝申し上げます。

しかし、当選したここからが本番です。「自動車産業・働く者の代表」として、実現してほしい事、解決してほしい課題を伝え、私たちの声を国会の場で代弁してもらう必要があります。そのためにも私たちは『いそぎ哲史』さんと積極的に関わり、より強固な信頼関係を作っていくことが重要であると思います。

企業グループの発展と雇用の安定について

組合の重要な役割の一つに、「経営対策活動」があります。

労使相互理解の精神のもと、組合は「おかしいと思うことがあれば、それを会社に提案・提言していく」責任があり、その姿勢が大切であると思います。近年、ヤマハ発動機も含め自動車業界でも不祥事が頻発していますが、私たち一人一人が職場実態や組合員の声をもとに、より職場に入り込んだ活動を行うことで未然に防ぐことが可能になると考えます。そのためには、まず私たち一人一人が自らの行動規範を正し、職務と責任に対し真摯に向き合い、真剣に取り組む必要があります。この積み重ねが、会社や社会からの更なる信頼につながると考えます。

豊かな心を持ち続けられる仕事と生活の実現について

2019年の総合生活改善の取り組みでは、賃金・年間一時金・働き方の改善・非正規労働者に関する取り組みなど、ヤマハ発動機グ

ループで働くすべての仲間の生活・働き方に直結する取り組みを、ヤマハ労連一体となって進めてきました。ヤマハ労連全体の底上げ・格差是正の更なる前進に向け、賃金については絶対額を重視した取り組みを強く意識し、また一時金については生活の維持・向上と今後の意欲・活力に繋がる重要な要因と位置づけ、交渉に取り組みました。昨年未より経済の不透明感が高まり交渉が厳しさを増す中、各労組は緊密な連携のもと粘り強く交渉に臨み、最大限の成果を上げることができました。

2020年の総合生活改善の取り組みにおいても目指すべき賃金水準や賃金課題の改善など各組合が賃金に対する考え方を明確にして、こだわりをもって「絶対額を重視した取り組み」を引き続き進めていく必要があると考えます。ヤマハ労連一体となって進めていきたいと思っておりますので、各組合においても議論・検討をお願いします。

社会との共生について

来年はいよいよ東京オリンピックが開催されます。また近年は同時開催されているパラリンピックにも、注目が集まっています。社会も人の在り方も多様性が増している今の世の中で、私達はより一層社会と深く係わり、また果たす役割も大きくなっていきます。「今だけ」「私だけ」ではなく、関わりを持つ周囲の人々へも深く配慮できるような、共済共助の考えをより意識しなければいけない社会になってきていると思います。労働組合の考え方や役割は、最近耳にする機会の多くなったSDGs(持続可能な開発目標)の理念である“誰ひとり取り残さない世界の実現”にも共通しており、今後労働組合の重要性が再認識されるきっかけになるのではと考えます。まずは私達労連・各労組の仲間で、よりよい職場環境を目指して頑張りましょう。そのためには労働組合としても、組合役員と組合員との信頼関係を高め、職場の風通しを良くし、何かあれば組合に情報や相談が来るような関係・環境づくりに努めていく必要があると思います。働きやすい、働きがいのある「より良い職場」づくりを目指すことをお願いするとともに、今後1年間、ヤマハ労連の活動へのご理解とご協力をよろしく申し上げます。



自動車総連 第48回大会が開催されました



2019年9月5日から6日にかけて、メルパルク東京において自動車総連の第48回大会が開催されました。この1年間の活動経過報告や決算報告のほか、第28期の運動方針・予算などの議案を審議し、すべて提案通り可決されました。

ヤマハ労連を代表して、鈴木修労連副会長より自動車総連の第28期運動方針に対する意見表明をしました。



質問 2019年労働諸条件改善の取り組み方針について

YEJP労組 香田代議員



労連内すべての組合で役員改選となる中、この機会に労働諸条件改善の取り組み方針について、主な議論経過や方針に込められた“考え方・思い”について説明いただきたい。

執行部答弁 組合員の健康確保、60歳以降の働き方に関する考えを述べる

寺田事務局長

◇重点的に取り組む項目①：改正労働基準法等への対応

社会的に注目を集めた過労死・過労自殺といった問題を、ヤマハ発動機グループの中では絶対に発生させないという思いを持って、労働時間の短縮に取り組んでいます。特に時間外労働については、36協定特別条項において「月80時間・年720時間」を上限としつつ、より抑制的な時間での36協定締結を目指すことで皆さんの健康確保につなげたいと考えます。

健康確保の観点でもう1点、勤務間インターバル制度の普及促進について触れたいと思います。現在のところ制度の導入が義務化されているわけではありませんが、働く者の安全で健康かつ持続可能な働き方を実現するため、勤務間の休息時間確保に向けて議論を進めています。労連としてのガイドラインを策定しており、これを皆さんと共有することで取り組みを進めていきたいと考えます。

また2019年4月から、年次有給休暇の年間5日以上の取得が義務化されています。会社が義務を負うのは当然のことですが、組合としてもしっかりと確認していく必要があります。皆さんも職場での組合員への声掛けを行い、組合員全員が年次有給休暇5日以上取得できるようご協力をお願いします。

◇重点的に取り組む項目③：60歳以降の働き方に関する取り組み

現在、65歳の就労機会確保のための法整備が進んでいますが、今後は更なる高年齢への拡大が予想されます。高年齢者の活躍がなければ日本の社会が成り立っていかないという状況や、将来の年金の問題もあり、こういった取り組みが進んでいくものと思われます。2019年1月からいくつかのグループ会社において、賃金水準の見直しおよび一時金制度新設などにより処遇が引き上がる新たな再雇用制度が導入されました。組合としても60歳以降も安心して能力を発揮し、働きがいを持って働ける環境の整備に積極的に取り組んでいきたいと考えます。まだまだ道半ばの取り組みではありますが、会社からの提案のみならず組合からも提案を行い、一丸となって進めていきたいと考えます。



★第30期新役員を紹介★



3列目左から 雪嶋・鈴木啓・石塚・鈴木雄・原崎・皆川・江平
 2列目左から 山口・高橋裕・永井・成瀬・奥宮
 最前列左から 野上・太田・鈴木修・久保・内門・田形・伊藤
 (今泉中執・高橋弘中執は都合により欠席)

役 職	氏 名	単 組 名
会 長	久保 順裕	ヤマハ発動機労働組合
副 会 長	鈴木 修	ヤマハモーターパワープロダクツ労働組合
副 会 長	内門 玄	ヤマハモーターエンジニアリング労働組合
事 務 局 長	太田 晋也	ヤマハ発動機労働組合
事 務 局 次 長	石塚 力朗	ヤマハ発動機労働組合
事 務 局 次 長	鈴木 啓晃	ヤマハモーターエンジニアリング労働組合
中央執行委員	永井 新次	ヤマハ発動機労働組合
中央執行委員	今泉 竜	ヤマハ発動機労働組合
中央執行委員	山口 博之	ヤマハ発動機労働組合
中央執行委員	高橋裕太郎	ヤマハモーターパワープロダクツ労働組合
中央執行委員	高橋 弘樹	ヤマハモーターエンジニアリング労働組合
中央執行委員	江平 健二	ヤマハ天草製造労働組合
中央執行委員	野上 隆夫	ヤマハ熊本プロダクツ労働組合
中央執行委員	伊藤 良平	営生労働組合
中央執行委員	皆川 和也	ヤマハ発動機販売労働組合
中央執行委員	奥宮 正史	ヤマハモーターエレクトロニクス労働組合
中央執行委員	成瀬 浩一	ヤマハモーター精密部品製造労働組合
中央執行委員	田形 和紀	ヤマハモーターハイドロリックシステム労働組合
特別中央執行委員	雪嶋 秀樹	ヤマハ発動機労働組合
会 計 監 査	鈴木 雄一	ヤマハモーターパワープロダクツ労働組合
会 計 監 査	原崎 孝央	ヤマハモーターエンジニアリング労働組合
顧 問	松野正比呂	磐田市議会議員

退任役員を紹介します

今大会をもって12名の役員が退任されました。これまでの活動に感謝すると共に、今後ますますのご活躍を祈念致します。



仲田 和也
副会長 2年



山内 啓寿
副会長 3年
中央執行委員 2年



寺田 克哉
事務局長 7年
事務局次長 2年



山本 真弘
事務局次長 2年



太田 哲也
中央執行委員 7年



浦田 俊英

中央執行委員 2年



金子 弘幸

中央執行委員 5年



宇野 好幸

中央執行委員 3年



犬塚 知彦

中央執行委員 2年



伊藤 純一

特別中央執行委員 3年



森 雅浩

特別中央執行委員 5年
事務局次長 2年



羽田 利彦

会計監査 3年

チャリティ公演 ボランティア募集

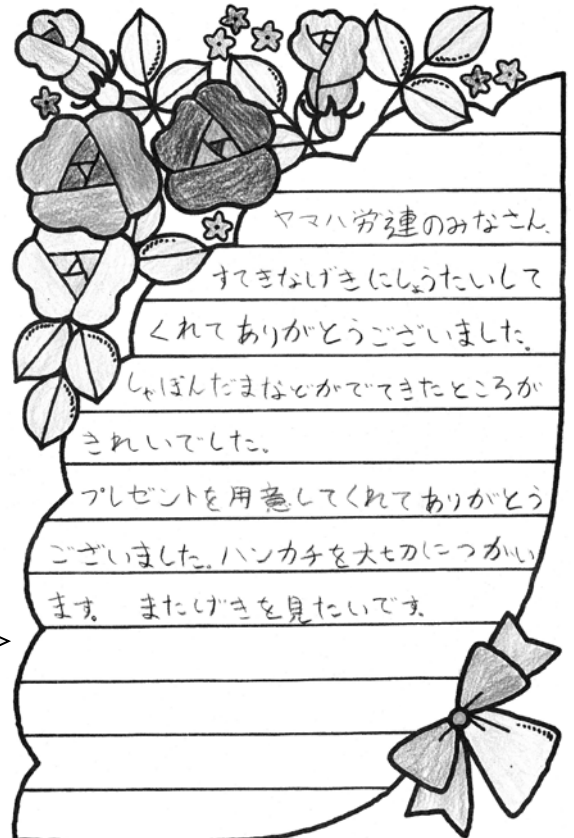
●チャリティ公演は、「心・感動を贈る」活動のひとつとして、皆さんからお預かりした福祉カンパ金で地域の福祉施設の方々を招待し、観劇を楽しんで頂くものです。また、障害を持つ方々との交流を通じ組合員の皆さんの社会福祉やボランティア活動に対する理解を深めてもらうことも目的として開催しています。

●公演内容：劇団四季「はだかの王様」
公演日：2019年11月29日（金）
10：30集合～18：30終了予定
（公演は13：30開演～15：30終演予定）
会場：菊川文化会館Aエール



●ボランティア内容：
・会場内の案内 ・招待者来場時の受付
・駐車場の整理 ・舞台撤去の補助

●募集人数：50名ほど（10月24日（木）み切）
お問い合わせ先 ヤマハ労連 事務局 石塚まで
TEL：0538-34-1218



【昨年ご招待した施設職員の方の声】

- ・サンタさんとトナカイさんのお出迎え、劇団員の方の見送り、子どもたちが本当に喜んでます。
- ・毎年チャリティー公演を開いてくださることに本当に感謝しております。ぜひ今後も続けていただけたらと願っております。
- ・困っていると声をかけてくださったり、誘導して下さったりして大変助かりました。運営される方たちの温かなご配慮を感じました。